

平成27年決算特別委員会において「検討する」旨 答弁した事項の検討状況について

平成28年6月3日
企画振興部

「検討する」旨の答弁を行った事項	その後の検討状況
<p>【質問要旨】 仙北市で随意契約に係る問題が起きている。従来の財務視察のような制度があれば、起こり得ないのではないか。全体を見ることができる、他と比較できる県の監査能力を活かし、可能なやり方を検討すべきではないか。</p> <p>【答弁要旨】 市町村の企画担当部課長の会議においてチェック体制を整えてもらうよう話したい。また、毎年、市町村訪問という形で各市町村長に課題等を伺っているが、そういった機会に確認するなど、やり方を考えてみたい。</p> <p style="text-align: right;">(市町村課)</p>	<p>県による市町村の財務事務視察については、市町村の要望を踏まえて実施すべきものであることから、現在、現状における課題や県の支援のあり方について、市長会及び町村会と協議をしているところであり、今後、市町村訪問等を通じて、個々の市町村の要望を具体的に把握し、必要な対応を進めてまいりたい。</p> <p>なお、市町村における事務ミスや不祥事の防止については、秋田県・市町村協働政策会議幹事会等において、市町村担当者に要請しているところであるが、今後とも、機会を捉えて、注意喚起してまいりたい。</p>
<p>【質問要旨】 子どもの国づくり交付金の検証結果を踏まえ、今後の市町村の支援のあり方等について、どのように考えるか。</p> <p>【答弁要旨】 当初予算に向けて、何ができるのか、どういうやり方がいいのかを含めて検討しているところである。</p> <p style="text-align: right;">(人口問題対策課)</p>	<p>市町村において、子どもの国づくり交付金の活用により、少子化対策の継続的な推進・充実強化が図られたところであり、同交付金は平成27年度をもって計画どおりに終了したが、今後は、少子化対策に活用できる「地域少子化対策重点推進交付金」や「地方創生推進交付金」等の国の交付金を活用しながら、市町村が地域の実情に応じた少子化対策を推進できるよう、助言してまいりたい。</p>